

健康ひろば・胆振

歯周病学会認定医に

多田歯科医院の多田副院長



室蘭初「予防に力」

多田歯科医院(室蘭市中央町、多田和央院長)の多田和弘副院長(38)が、歯周病治療のスペシャリスト「日本歯周病学会認定医」に認定された。室蘭では初めて。多田副院長は「歯周病の予防と、しっかり治療する重要性について、より多くの人に知っていただける活動をした」と意欲を燃や

す。室蘭出身の多田さんは、日本歯科大学新潟生命歯学部卒。「歯周病を防ぐことは、家の土台を大切にすると同じ。いわば基本」の考えから、同部歯周病学講座で学び、同学会指導医がいる群馬県の歯科医院に勤務。歯周病治療の臨床経験などを積んできた。3年前に室蘭に戻った後も認定医試験に向けた準備を進め、昨年10月に認定された。

歯周病は「成人の8割が罹患している」という。また「歯周病はある日、突然、重度の症状が出る」。多田副院長は「重度になつてから慌てて治療するのではなく、早い段階からの予防が大切」と話す。その上で、口の中の歯垢(プラーク)や歯石を取り除く「スケーリング」を歯科医師や歯科衛生士が行う「プロフェッショナル・プラークコントロール」の大切さを強調する。

虫歯や歯周病を未然に防ぐため、歯や口を健康に保つ「予防歯科」の重要性を説く多田副院長。日本歯周病学会ホームページによると、胆振管内には専門医が2人、認定医は多田副院長を含めて2人しかいない。室蘭市

日本歯周病学会認定医に認定された多田さん。「歯周病の予防と治療の大切さを知ってもらいたい」と話す。

~~~~~

わけではなく、自覚症状がないまま徐々に進む」。このため、歯茎からの出血や痛みがない状態でも気付かず、最終的には歯がぐらついたり、抜歯せざるを得ない」ともあるという。

内唯一の認定医として「これらの知識を、より地域の方々に知ってもら

えるよう、取り組みたい」と意気込みを話す。  
(松岡秀宜)